

平成23年度福井県立武生工業高等学校スクールプラン

※校訓、目指す生徒像

- ・互いに敬愛する
- ・勤労を愛好する
- ・創造能力を進展する
- ・健康を増進する

※学校教育目標（方針）

地域を支える「心ある技術者」の育成

- ・地域に関かれ、地域に支えられ、地域に貢献できる学校
- ・ものづくりを通して生徒が主体的に学び、豊かな心を持った生徒を育成する学校
- ・多様な進路志望に確実に対応し、生徒の夢の実現をはかる学校

重点目標

1 教育課程・学習指導・研修 (共通項目) 教務部	2 生徒指導 (共通項目) 生徒指導部	3 進路指導 (共通項目) 進路指導部	4 保健管理 (独自項目) 保健部	5 保護者との連携 (独自項目) 庶務部	6 図書指導 (独自項目) 図書部	7 その他 (独自項目)
①進路希望の実現に向けて、基礎学力の向上に努める。 ②地域に開かれた学校作りを行う。 ③ホームページを利用した情報の発信に努める。	①規範意識の向上と社会習慣・マナーの育成を図る。 ②生徒会の自主的な活動を図る。	①キャリア教育の見直しと改善を着実に進める。 ②生徒の自己実現の能力を高める。 ③雇用情勢悪化に適切に対応し、進路情報の環境整備と充実に努める。	①健康教育を推進し、健康の管理と増進に努める。 ②環境美化・安全管理に勤め、快適な学習環境を整える。 ③相談しやすい環境づくりに努める。	①施設管理（保全・補修・更新）に努める。 ②事業（PTA・購買部・部活動振興・防災・同窓会）の円滑な運営と活性化を図る。	①図書館の環境充実と資料収集に努め、適切な情報を発信する。 ②読書指導と図書館の利用促進を図る。 ③視聴覚機器と教材リストの整備拡充と利用促進を図る。	a) 専門教科(工業科) ①ものづくりを念頭に置いた、魅力ある工業教育のさらなる充実を目指す。 b) 多忙化解消・事務量削減
具体的な取組み ①学習の目的を理解させ、規律ある学習態度を身につけさせる。 ②生徒の学力に即した、わかりやすい授業を行う。 ③学校の特色や取組が、さらに地域に理解されるように内容の精選・見直し・工夫を行う。 ④行事・予定・就職進学状況などの情報を素早く・分かりやすく発信する。	具体的な取組み ①生活の基本的な規律・マナー（遅刻・服装・挨拶・言葉い・登下校時の交通マナー等）の指導を徹底する。 ②生徒会執行部の積極的な活動を育成する。	具体的な取組み ①さまざまな教育活動の中にキャリア形成支援を織り込んで実践していく。 ②進路希望調査などを有効活用し、生徒の進路希望に応じた丁寧な補習・資格指導を行う。 ③生徒が自己の能力や適正を理解し自己実現できるよう、さまざまな教科と連携し支援する。 ④早期の企業訪問で、求人状況を随時把握し、インターンシップや就職指導に生かしていく。	具体的な取組み ①生活習慣の改善に向けた指導の充実に努める。 ②日常の清掃とゴミ分別を徹底し、ゴミ等のポイ捨てをしないよう環境教育を推進する。 ③教育相談の研修を充実し、教職員間の共通理解を図る。	具体的な取組み ①天板・椅子・黒板クリーナー等必要に応じて購入し、より充実した学習環境の実現に努める。 ②PTA研修会をより充実させ参加者数を増やし、教職員と保護者との信頼関係を深化させる。たくみそば事業も更なる地域貢献を目指す。 ③賠償責任補償制度（強制保険）について、迅速な状況把握と対応に努める。 ④同窓会ホームページを本校ホームページからリンクし、総会案内や活動報告などの情報公開を行う。 ⑤部活動等の上部大会参加における激励金や記念品等、支援活動の改善と継続を行う。	具体的な取組み ①たくみ文庫の利用度や形態を再度詳しく調査し、さらに利用度を高める。合わせて、ポイントカードの利用促進を図る。 ②朝の読書の時間延長希望に応えるため、その方法や日時、回数などを検討し、実現に取り組む。 ③視聴覚ライブラリーの周知徹底を行い、利用促進を図る。	具体的な取組み a) 専門教科(工業科) ①環境問題や高齢化などの社会問題に対する意識を高め、環境や人に優しいものづくりを実践する。 ②実習の安全性をより一層高めるため、実習安全(マニュアル)手帳の作成を検討する。 ③各科の連携・意思疎通を図るため、工業科会議を必要に応じ開催する。 b) 多忙化解消・事務量削減 ①サイボカズ利用の促進を図り、文書量(紙量)の削減と会議の短縮化を目指す。 ②年間行事や会議の見直し・精選を図る。 ③成績処理システムの効果的活用を検討する。